



あかね文庫お話しの会 おひさまだより



絵本アンケート

“ボランティアの方に ききました、
子どもの頃好きだった本”



まんまるさん

『はじめてのおつかい』
『いもうとのにゆういん』

絵本はいつも母が買ってくれました。母も姉もよく読んでくれました。二人とも 役になりきって読んでくれて、とても楽しかったことを覚えています。

また、林明子さんの描く絵がかわいくて、字が読めない頃から絵だけでも楽しめました。少し大きくなってからは、姉と二人でせりふのところを “この「 」を読むのは私ね”

と、役を変えながら読みあって楽しんでいました。

えほんの紹介



「はじめてのおつかい」

筒井頼子 / 文 林 明子 / 絵
福音館書店

表紙の絵は、はじめてのおつかいのできたみいちゃんの晴れやかな笑顔です。五歳のみいちゃんはママに頼まれて、赤ちゃんの牛乳を買いに一人ででかけます。みいちゃんにとっては初めての冒険です。みいちゃんの心の動きが小さい子どもにも共感でき、みいちゃんと一緒にドキドキしたり、ころんだり、ほろりしたり…。

林明子さんは絵の中にいろいろかくし絵風に遊んだり、幼い子の瞬時の表情や姿をあたたかい眼差しで、しかも的確にとらえて描いて見せてくれます。裏表紙には本文の続きも描かれているのでお見逃しなく。『いもうとのにゆういん』も同じ二人の作品で、林さんの絵本は他に『はっぱのおうち』『こんとあき』『おふろだいすき』『はじめてのキャンプ』など多数あり、どれもお薦めです。

小さなおともだち

思いがけないおくりもの！

ひまわり学級のある日のことです。先生とY君とのマンツーマン、Y君の最後の授業でした。明日は退院です。そして読み聞かせの時間にはお母さんも加わり、Y君が『かえるとけらくん』を読んでもくれました。地上のかえらくんと地下のけらくんと行き違いがおもしろい本でした。Y君からの思いもしない楽しい時間をいただきました。ありがとう。

次に『こしぬけウィリー』を私が読みました。アンソニー・ブラウンの絵とストーリーに大笑いです。Y君の大きな目がキラキラ輝いていました。絵本の好きなY君、これからも本と友だちでいてくれると嬉しいです。